

《新番組企画書》

●企画意図

ラジオに小さくても「ジャーナリズムの広場を作りたい」と、願っています。

ジャーナリズム本来の仕事である現場の丁寧な取材と、予断や偏見に絡めとられることのない自由な精神により、人々に深く届く心優しい言葉にあふれた「広場＝フォーラム」です。

2011年3月11日東日本大震災、そして東京電力福島第一原発事故以降、メディアに対する視線は、とても厳しいものになっています。

そこで、単なる発表報道の後追いではなく、自分たちの足で現場を取材して、そこで見たこと、聴いたこと、そして感じたことを語り合う、そんなラジオの機動力と少人数でも制作が可能な簡便さを活かした、番組を作ります。

いまやインターネット、スマートフォンなど、数多くのメディアがあり、ますますラジオ離れが進んでいます。ラジオを持っていなかったり、ラジオを知らない若者も決して珍しくありません。首都圏のラジオ全局聴取率（S I U）が、今年8月の調査で史上最低の6.1%を記録しました。ラジオを聴いている人の数自体はそんなに減っていないので、長時間ラジオを聴く人が激減しているのがS I U低下の最大の理由です。その背景には、こうした多メディア時代の影響だけでなく、ラジオ局の苦しい経営事情によりラジオの現場から人が減らされ、そのため複数の番組が統合され長時間ワイド番組が増えたことがあげられます。その一方で、いまリスナーが求めているのは「広く薄いワイド番組」ではなく、「狭くても深いジャーナルな番組」ではないでしょうか？

この番組には、四人の新進気鋭のパーソナリティーが毎週替りで登場します。（後述）

はっきり言って一般的な知名度はありませんが、その世界では名うての人ばかりです。彼らの体験と、豊富な人脈を活かしたゲストを招いて、リスナーが「そんなことが起きているのか？」「こう考えると実態がわかりやすい」と、なによりも共感できる番組をめざします。

また毎週、小出裕章京都大学原子炉実験所助教が電話で出演します。

パーソナリティーと多彩なゲストが、社会・文化・世界についてじっくり語り合うことで、新たな世界が見えてくる番組、それが「ラジオ・フォーラム」です。

●番組タイトル 「ラジオ・フォーラム」（仮題）

●放送時間 毎週1回 1時間（土曜か日曜の夜帯を希望）

* 地方局が番組購入をしやすくするため30分バージョンの作成も検討

●番組概要 週替わりのパーソナリティーによる（詳細は後述）

ゲストを招いたトーク番組

●放送形式 録音（関西で月2回、東京で月2回）

事前に収録して編集の上、貴局の方式で納品します。

全国各地のコミュニティFM。

インターネットラジオにも一部配信します。

●提供 RAF（ラジオ・アクセス・フォーラム）

市民500人余から「たね蒔きジャーナル」の存続のために寄せられた1003万円の寄付金の内、当初からのお約束通り「番組が存続しなかった場合には返金を希望する」人たちには、きちんと返金をしました。その上で、返金を希望されず、お金の使い方を「たね蒔きジャーナルの精神を引き継ぎ、聴取者が本当に知りたいことをゲストが語り合う」ラジオ番組に委託された方たちからの寄付金（866万円）を基金化して管理運営する団体として、「ラジオ・アクセス・フォーラム」を設立します。当面は任意団体として活動しますが、早急に一般社団法人化します。

*なおこの番組の主旨に賛同するスポンサーの一部提供も考慮中です

●番組パーソナリティーとゲスト候補案

第一週 「社会が見えてくる」

担当 湯浅誠（反貧困ネットワーク事務局長・元政府参与）

ゲスト候補 雨宮処凜（作家）

飯田哲也（環境エネルギー政策研究所所長）

香山リカ（精神科医）他

第二週 「世界が見えてくる～世界取材して」

担当 石丸次郎（ジャーナリスト・アジアプレス）

ゲスト候補 西谷文和（ジャーナリスト）

綿井健陽（ジャーナリスト）

岩崎有一（写真家）他

第三週 「メディアが見えてくる」

担当 石井彰（放送作家）

ゲスト候補 吉岡忍（ノンフィクション作家）

森達也（作家・映画監督）

小室等（歌手）他

第四週 「関西が見えてくる」

担当 今西憲之（ジャーナリスト）

ゲスト候補 原一男（映画監督・大阪芸術大学教授）

おしどり（漫才師）

趙 博（ミュージシャン）他

●番組構成案

オープニング (3分)	ゲスト紹介及び今日のトークテーマなどを紹介
1. ニュースのたね (10分)	最近のニュースからゲストが最も関心のあるテーマを一つ選んで、パーソナリティーと語り合う。
2. 小出裕章コーナー (15分)	原子力発電や福島原発事故の実情をパーソナリティーやリスナーからの質問に答える形で小出氏がわかりやすく解説します。
3. クッション (1～2分)	30分までの時間調整のため、小出さんの話についての感想をパーソナリティーと語り合う。
4. 話のたね (20分)	ゲストが、最もいま話したいテーマ、社会の動きなどについてじっくり語り合っていく
5. 音楽のたね (3分くらい)	ゲストが持参した音楽を一曲かける
6. ラジオのたね (3～4分)	番組からの独自の情報発信を目指して、東北の被災地支援や、被災地から避難してきた人たちへの支援に取り組む市民活動や障害者や外国人、高齢者や生活保護、過疎などに取り組む市民グループの活動を紹介する。 コミュニティFMからの情報提供を歓迎します。
エンディング (2分くらい)	ゲストとのまとめトーク、次週の番組内容などを紹介

